

**\*専門分野を変更・追加される場合には、当該分野に関する業績の提出が必要となりますので、次の書類(新規申請書 様式3を使用すること)を申請書類と合わせてご提出下さい。**

- 1) 学術論文業績 (関連学会を含む)
  - ・掲載誌の表紙ならびに論文掲載頁のコピー (または別刷) を添付して下さい。筆頭著者, 共同著者いずれの場合も業績として有効となります。
- 2) 学会発表業績 (関連学会を含む)
  - ・抄録集に掲載された抄録のコピーを添付して下さい。筆頭発表者, 共同発表者いずれの場合も業績として有効となります。
- 3) 課題レポート
  - ・日本歯科理工学会学術講演会・地方会における特別講演・シンポジウム、あるいは日本歯科理工学会誌に関するレポートをA4サイズ用の紙で作成のうえご提出下さい。

#### 日本歯科理工学会称号認定制度施行細則 (抜粋)

第3条 規則第4条の資格要件における得点は、次のように定める。過去5年間で、下記の項目における得点総計が Dental Materials Adviser では5点以上、Dental Materials Senior Adviser では15点以上とする。

- (1) 学術論文等1編につき最高5点とする。
- (2) 学会発表 (関連学会を含む) 1件につき最高3点とする。
- (3) 認定審査委員会が指定する課題 (学会・地方会の講演あるいはDE誌の論文) に関するレポートの提出1編につき最高5点とする。
- (4) 提出書類の得点の詳細については、認定審査委員会で判定する。

#### **\*専門分野の選択基準**

研究業績を参考とした分野別の概略は下記の通りです。なお、ご自身で該当分野が特定できない場合は、委員会で判断しますので、その旨お書き添え下さい。

##### (1) 歯科材料基礎

- ①金属材料：金属系材料の開発や基礎的研究など
- ②無機材料：セラミックス系材料の開発や基礎的研究など
- ③高分子材料：高分子系材料の開発や基礎的研究など
- ④複合材料：有機無機複合材料の開発や基礎的研究など

##### (2) 修復治療関連器材

- ①審美歯科器材：欠損補綴、保存修復、歯列矯正、漂白、ラミネート修復などに関連する材料や治療法の開発、改良、効果や使用法の検討、臨床応用研究など
- ②接着・合着器材：歯科用接着・合着器材の開発、改良、評価や臨床応用研究など

- (3) 義歯関連器材
  - ①義歯・メンテナンス器材：  
義歯およびそのメンテナンスに関連する器材の開発、改良、評価や臨床応用研究など
  - ②マウスガード：  
マウスガード用材料と製作器材の使用法や効果の検討、臨床応用研究など
- (4) 予防歯科関連器材：  
予防用器材の開発、改良、効果や使用法の検討、臨床応用研究など
- (5) インプラント関連器材：  
インプラント材料の基礎的研究、開発、改良、臨床応用研究など
- (6) 再生医療関連器材：  
骨補填材、GBR膜、担体材料（スキャホールド等）、細胞材料等の再生医学、再生歯学に関する基礎および臨床研究など
- (7) 矯正治療関連器材：  
矯正用材料、矯正治療装置等の開発、改良、臨床応用研究など
- (8) 歯内治療関連器材：  
根管治療用材料や器具、仮封材、裏層・覆髄材等に関する基礎および臨床研究など
- (9) 診断・教育関連器材：  
他の項目に属さない診療用器材（教育用器材を含む）やデータサイエンスに関する開発、改良、評価などに関連する全ての研究
- (10) 歯科技工関連器材：  
埋没材、鋳造材料、研磨材など技工関連器材の開発、改良、使用法の評価など
- (11) レーザー関連器材：歯科用レーザーの基礎的研究、開発、改良、臨床応用研究など
- (12) 生物学的評価：In vitro および動物実験による生物学的な機能や安全性評価など
- (13) デジタル関連器材
  - ①計測器材：ラボおよび口腔内スキャナーと設計に関連するCAD等の器材の開発、改良、評価や臨床応用研究など
  - ②製作器材：各種加工方法と製作に関連するCAM等の器材の開発、改良、評価や臨床応用研究など
- (14) その他の器材：